



所沢クリドラタウン通信

2号

クリエイティブパワー全開! のクリドラタウン

クリドラタウンの活動の始まりはウォーミングアップ! 自分の体や他者との距離をコントロールするウォーキングや色々な鬼ごっこで体と心をほぐします。

グッと集中力と意欲が高まったところで、想像力を刺激すると発想がどんどん広がります。それを絵や言葉、体などをつかって表現し、コミュニケーションしながら感性・創造性を育みます。

スタッフは、毎回、一人ひとりの子どもが興味と好奇心、面白がって想像・創造できるようなプログラムを準備し、工夫しています。そんな中、「演劇と教育」(晩成書房発行)のコラム「ドラマの眼」に、クリドラタウンの現場が重なりました。以下、抜粋して紹介します。

『今日の学校の中心課題は「学ぶ喜び」と「集う楽しさ」を伝えることではないかと、私は考えている。物事を習って身につける、知識を学んで身につけることは、元来「喜び」であるはずなのだ。幼児が何かを成し遂げた時、「できた、できた!」と飛び跳ねる姿を、子どもを育てた者なら誰もが幾度となく見たはずである。

～略～

もともと、学ぶということは、このように喜びを伴うものなのだ。この喜びを知った子どもは、自分から学び始める。自学自習。これはその子の生涯にわたる力となる。

～略～

学校ではまずこの「学ぶ喜び」を子どもに伝えてほしい。そのために大事なのはどのような授業をするかということ。それゆえに「授業の研究」が必要なのである。

～略～

人間はもともと社会的存在である。社会を形成して、その中で生きていく。ところが、今日子どもが置かれているような環境では、社会で生きていくのに必要な資質(例えば、共働、協力、共感とか支えあう精神など)がなかなか育ちにくい。学校は、子どもたちにとって、今日唯一、「社会的集団」を経験させうる場となっているのではないだろうか。

だからこそ、その場に「集うこと」が、いかに「楽しい」かということを経験させる必要があるのだ。そうすることで、人間社会に欠くことのできない資質を育てなければ、社会は内部から壊れていくような気がする。「学ぶ喜びと集う楽しさ」を子どもに伝える一つの方法として、演劇活動が極めて有効な力を発揮することは、過去の演劇教育の実践が証明しているように思える。』

～略～

「学ぶ喜び・集う楽しさ」(児童文学作家 丘修三)より

7・8月の活動アラカルト

●ウォーミングUP!

・電車鬼ごっこ ・2人組鬼ごっこ ・馬跳び鬼ごっこ ・宝オニ

●集中と感覚

・ティッシュ飛ばし&人間知恵の輪

●自分と他者?

・仲間あつめ ・人は見かけ?

●想像してつくる?

・2人でつくる「身の回りのモノ」 ・人物写真から「どんな人?」かの想像

●絵や文字、体で表現

・「百鬼夜行絵巻」を描く

他の人の描いた妖怪とコラボして、さらに新たな妖怪も。

・こんな「お祭り」あったらいいな!

いつ、どこで、誰の、どんな「お祭り」? 絵や文字でかいてプレゼントーション。他の人の話を聞くうちに、さらにイメージは膨らんで…

●発表

・プレゼン ・ニュースショー

●日英韓国共同制作「ヨーグルトを探せ!」

7月30日(水)の公演をきっかけに、日本、英国、韓国との違いや考えに触れ、三国の遊び体験。

●8月は「体験タウン」

6日の活動では、初めてのお友達が、楽しい雰囲気の中、すぐに打ち解けて楽しく活動できました。タウンの子どもたちには、新しい人を自然に巻き込む力も育っているようです。また、チーム戦では、協力する力や技がUPし、相手のちょっとした動きに敏感に反応していました。

★8月29日(土)の「体験タウン」にも、ぜひお友達をお誘いください。

準備の都合により、事前に参加申し込みをお願いします。

● 8・9・10・11月の活動予定 (会場: 所沢文化会館)

- 8/6(木) 体験タウン 木曜日 16:30~18:00
- 8/29(土) 体験タウン 土曜日 13:15~14:45
- 明峰小学校
- 9/3(木)
- 9/12(土)
- 9/17(木)
- 9/26(土)※
- 10/1(木)
- 10/10(土)
- 10/15(木)※
- 10/24(土)
- 11/5(木)
- 11/14(土)
- 11/19(木)
- 11/28(土)



スタッフ養成講座 初級(全2回)

子ども達が行っている活動の『大人体験版』を実施します。子ども達は、いつもどんな活動をおこない、なぜ楽しく参加しているのでしょうか? 一緒に体感してみませんか? 詳しくは後日チラシにてお知らせいたします。

11月 28日(土)
29日(日)